

平成26年度 新幹線鉄道事業本部実行計画

I. 基本方針

本年度は、東海道新幹線における安全・安定輸送の確保を最優先に、脱線・逸脱防止対策の推進をはじめとする地震対策、土木構造物の大規模改修工事、N700Aの投入およびN700系の改造工事、台風・ゲリラ豪雨・雪などの自然災害対策等を、関係会社と一体となって着実に取り組んでいく。

また、「のぞみ10本ダイヤ」等を活用し、需要に応じた弾力的な列車設定に取り組み、より多くのお客さまに「快適」「便利」に新幹線をご利用いただき、さらなる輸送量の増加を目指すとともに、ブランドクオリティサービス運動の推進、異常時における適切な案内が提供できる体制の確立、世の中の動向を踏まえた新たなサービスの検討等にも取り組む。

加えて、本年度に東海道新幹線開業50周年を迎えることから、各種イベント等を行い、東海道新幹線をご利用いただいている数多くのお客さまへ感謝を示すとともに、需要喚起を図る。

さらに、平成27年春に285km/hへの速度向上が確実に実現するように、各部門が連携して必要な準備に取り組む。

こうした課題を着実に進めるため、収益力の強化と技術レベルの不断の向上に取り組むとともに、設備投資を含めた業務執行全般にわたる効率化と低コスト化を徹底し、経営体力の充実を図る。また、これまでに培った力を土台として、業務運営体制の再構築に取り組む。

これら業務の遂行にあたっては、社員一人ひとりが力を合わせ、鉄道従事員としての高い自覚と規律規範意識に基づいて、完璧な仕事を目指すとともに、各部門が連携しスピーディーに全力で取り組む。

II. スローガンと重点目標

「安全」「正確」「快適」「便利」を目指して
全員が心を一つに、「高い自覚」と「完璧な仕事」で
最高の輸送サービスを提供しよう！

- 安全・安定輸送確保に向けた着実な取り組み
- お客様に選ばれる輸送サービスの充実
- 組織の業務遂行力の向上と低コスト化の推進
- 社員の規律規範意識の醸成と技術力の強化
- 東海道新幹線開業50周年企画の完遂
- 健全で良好な労使関係の一層の充実

Ⅲ. 重点目標と重点施策

○ 安全・安定輸送確保に向けた着実な取組み

- ① 基本動作の徹底と、業務やルールの本質を主体的に考え、理解し、実行に繋げる活動（NT活動）等を推進し、関係会社と一体となって運転事故および労働災害の防止に取り組む。
- ② 三現主義を基本とした「作業実態の把握」に取り組む。
- ③ 脱線・逸脱防止対策を最大限に推進する。
- ④ 不断のコストダウンを重ねながら大規模改修工事を着実に進める。
- ⑤ 浜松工場・車両所建物等の建替・耐震補強工事を着実に推進する。
- ⑥ 本年度末のN700A全般検査開始に向けた検修体制の整備を着実に推進する。
- ⑦ 台風・ゲリラ豪雨・雪などの自然災害対策を深度化し、遅延時分の短縮に努める。
- ⑧ 沿線支障倒木の伐採を継続的に推進する。
- ⑨ 軌道および電車線路設備の維持・更新を着実に推進する。
- ⑩ セキュリティ対策を着実に実施する。
- ⑪ 環境対策を着実に実施する。
- ⑫ 西日本、九州との連携を強化し、一層の安全・安定輸送を確保する。

○ お客様に選ばれる輸送サービスの充実

- ① 「のぞみ1.0本ダイヤ」等により、需要にあわせた弾力的な列車設定に取り組む。
- ② 285km/hへの速度向上を確実に実現するために、必要な準備に取り組む。
- ③ N700Aの投入およびN700Aの主な機能を反映するN700系の改造工事を推進する。
- ④ 新大阪駅引上線等を有効に活用し、災害等の異常時におけるダイヤの安定性の向上を図る。
- ⑤ ブランドクオリティサービス運動等の取組みを推進し、東海道新幹線の強みを活かした快適・便利な輸送サービスを強化する。
- ⑥ 東京駅・名古屋駅における新型可動柵の設置工事を推進するとともに、京都駅への設置工事に着手する。
- ⑦ 異常時における社員およびお客様への的確な情報提供等の取組みを推進するとともに、駅および車内における通信環境の充実を図る。
- ⑧ EX会員拡大や観光キャンペーンの展開等による増収施策を推進する。
- ⑨ Z0編成を活用した将来の技術開発を推進する。
- ⑩ 平成27年春に予定されている北陸新幹線開業を踏まえて、当社エリア内への誘客につながる施策の検討を進める。

○ 組織の業務遂行力の向上と低コスト化の推進

- ① 安全の確保を大前提としつつ、現行の業務運営体制における効率化の余地について検証を行い、さらなる効率的かつ筋肉質な業務運営体制の構築を推進する。

- ② 知識・技術力の向上を図るとともに、業務の組み立ての合理性を徹底的に追求することにより、業務運営全般にわたり低コスト化を深度化する。
 - ③ 設備投資について、維持更新投資を含め、一層のコストダウンに取り組み、投資効果を向上させる。
 - ④ 車両の新製およびメンテナンスを含めたトータルのコストダウンを検討する。
- 社員の規律規範意識の醸成と技術力の強化
- ① 全社員が日頃から鉄道従事員としての規律規範意識と高い自覚を持ち、行動するよう徹底する。
 - ② NT活動の深度化に取り組む。
 - ③ ベテラン社員の活用も含めた若手社員への技術力の着実な継承、教育の一層の充実を図り、次代を担う社員を育成する。
 - ④ グループ会社と一体となって、技術教育・訓練の推進、管理要員の育成、業務遂行能力向上支援、および優秀な人材の確保等に努める。
 - ⑤ 各系統毎に統一した知識・技量を把握・向上させる仕組みを導入し、的確な教育を実施する。
 - ⑥ 総合研修センターを活用し、グループ一体として安全やサービスに主眼を置いた教育の一層の充実に取り組む。
 - ⑦ 「チャレンジ東海」活動や提案活動を社員の能力向上と職場活性化の重要な取り組みとして推進する。
 - ⑧ 系統を超えた風通しの良い職場風土を構築する。
 - ⑨ 「東海道新幹線50年史」や「50周年教育用ポスター」等を活用し、東海道新幹線に携わる社員としての正しい価値観を醸成する。
- 東海道新幹線開業50周年企画の完遂
- ① 駅や車両への装飾、駅における各種イベント等を実施し、お客様への感謝を示すとともに、より一層東海道新幹線の理解を深めてもらう。
 - ② 記念企画商品の発売等により需要喚起を図る。
- 健全で良好な労使関係の一層の充実
- ① 「安全」「正確」「快適」「便利」なサービスを提供し続けるためにも、引き続き健全な労使関係の一層の充実に取り組む。